

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	32-2																																						
PDCA	主要事業名	半田福祉ふれあいプール管理運営事業	部課名	教育部スポーツ課	担当	伊藤																																						
					内線	27-6663																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 2 単位施策： スポーツ 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 168,419 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.06.04.02.03																																											
	事業概要等	事業概要： 誰もが安全・快適に親子や友達と水に親しんだり、水泳等スポーツで利用ができるよう施設を維持管理する。 指定管理者制度を導入しており、利用者に近い立場でサービスの向上や、施設のより効率的な運営を行っている。																																										
		事業目的： 安全・快適な施設となるよう維持管理し、利用者が安全に水泳や水に親しむ場所を提供する。																																										
		事業内容： ・指定管理者による施設の維持管理 ・1年中水に親しめる場を提供																																										
		問題点・課題等： 設立当初に設備された機器が多く、熱源切替後の維持管理が非常に重要な課題等： る。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	168,419 千円	今後も半田福祉ふれあいプール利用者に安全・快適な利用環境を提供するため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 132,111 千円	年間を通じ、水に親しめるスポーツをする機会を提供することができる。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">施設利用者数</td> <td>実績値</td> <td>65,039</td> <td>93,112</td> <td>-</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100,000</td> <td>140,000</td> <td>140,000</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	施設利用者数	実績値	65,039	93,112	-	人	目標値	100,000	140,000	140,000	人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
施設利用者数	実績値	65,039	93,112	-	人																																							
	目標値	100,000	140,000	140,000	人																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
0 千円																																												
0 千円																																												
36,308 千円																																												
D 実績 得られた成果と	決算額 141,547 千円																																											
	得られた成果																																											
	利用者の声を反映したイベント開催や利用環境の提供に取り組むとともに、照明設備のLED化をはじめ、より安心安全に施設を利用できる施設環境を整備することで、利用者の満足度向上に繋げることができた。																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">施設利用者数</td> <td>実績値</td> <td>95,866</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>140,000</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	施設利用者数	実績値	95,866	人	目標値	140,000	人																											
	成果指標		令和5年度	単位																																								
施設利用者数	実績値	95,866	人																																									
	目標値	140,000	人																																									
C 課題の整理	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">C</td> <td colspan="5">           施設利用者数の目標値を達成はできなかったが、利用者の声から、安全性を確保したうえでスマートウォッチのプール内への持ち込みの許可や水着脱水機の設置などを行い、利便性を高めて新たな顧客の開拓を行うとともに、照明設備のLED化による施設の長寿命化を図り、より安心安全に施設を利用することができる環境を整備することができた。            今後、安定した利用者の確保を行うためにも、これまでの水泳教室、アクアビクス、リラックソヨガ等の自主事業も積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。            また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。         </td> </tr> </table>						C	施設利用者数の目標値を達成はできなかったが、利用者の声から、安全性を確保したうえでスマートウォッチのプール内への持ち込みの許可や水着脱水機の設置などを行い、利便性を高めて新たな顧客の開拓を行うとともに、照明設備のLED化による施設の長寿命化を図り、より安心安全に施設を利用することができる環境を整備することができた。 今後、安定した利用者の確保を行うためにも、これまでの水泳教室、アクアビクス、リラックソヨガ等の自主事業も積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。 また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。																																				
	C	施設利用者数の目標値を達成はできなかったが、利用者の声から、安全性を確保したうえでスマートウォッチのプール内への持ち込みの許可や水着脱水機の設置などを行い、利便性を高めて新たな顧客の開拓を行うとともに、照明設備のLED化による施設の長寿命化を図り、より安心安全に施設を利用することができる環境を整備することができた。 今後、安定した利用者の確保を行うためにも、これまでの水泳教室、アクアビクス、リラックソヨガ等の自主事業も積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。 また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。																																										
A 課題の解決方向に向けた	<table border="1"> <tr> <td colspan="6" style="background-color: yellow;">改善推進</td> </tr> <tr> <td colspan="6">           施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。            また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。            eスポーツ体験などプール以外の利用者の拡大も図る。         </td> </tr> <tr> <td colspan="2">必要性</td> <td colspan="2">有効性</td> <td colspan="2">効率性</td> </tr> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減余地</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td>※手段の変更</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </table>						改善推進						施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。 また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。 eスポーツ体験などプール以外の利用者の拡大も図る。						必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	改善推進																																											
	施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。 また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。 eスポーツ体験などプール以外の利用者の拡大も図る。																																											
	必要性		有効性		効率性																																							
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																																							
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更																																								
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">必要性</td> <td colspan="2">有効性</td> <td colspan="2">効率性</td> </tr> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減余地</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td>※手段の変更</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </table>						必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない															
必要性		有効性		効率性																																								
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																																							
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更																																								
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							

目標項目(予算計上時に作成)  
予算見積書で活用

評価項目(決算時に作成)  
主要施策の成果報告書で活用